

おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第8号

令和4年11月25日(金)

校長 福沢 俊之

TEL 03(3831)

学校ホームページ

<http://www.tai>

[aitou-jhs/](http://www.tai-aitou-jhs/)



↑更新中

創立二十周年記念式典を終えて

校長

福沢 俊之

平成14年に本校が開校して20年、11月5日(土)に無事、記念式典を終えることができました。

当時、他地区に勤務していた私も「御徒町中学校」と「台東中学校」が統合されることは聞いていましたが、両校とも地域に根を下ろした伝統校であることから、どのような校名になるのだろうか、と関心を持っていたことを覚えています。そして、2校を合わせた「御徒町台東中学校」という新しい校名に、新鮮さとともに統合に関わった方々の想いを、私なりに感じたことも思い出します。また、保管されている両校の卒業アルバムを開いてみたところ、本校の校章が、台東中学校の校章の「桜の花」と御徒町中学校の校章の「中」の文字とを合わせたものであることを知り、校章にも校名と同じ思いが込められているのだということを知り、改めて感じました。

本校の玄関正面、やや左側の壁面には、縦およそ120cm、横およそ25cmの重厚な二枚の板が掲げてあり、その一枚には、「御徒町中学校」、もう一枚には「台東中学校」と力強い文字が彫られています。20年前の閉校の時まで、それぞれの学校を守ってきたであろう二枚の校名札は、今もなお、堂々たる姿をそのまま残しています。統合して、新しい校名、校章と共に、新たな歴史をスタートさせる学校もありますが、本校は二脚をしっかりと地に下ろし、その上に歴史と伝統を積み上げながら、多くの卒業生を社会に送り出してきました。これまでを振り返ってみると、地域の様々なイベントに、多いときには百人からの生徒が参加してきました。また、本校の教育活動としての職業体験、伝統工芸体験で、地域の数多くの事業所にお世話になったり、幼稚園や保育園、小学校や児童館などの行事にも関わりを持たせていただいたりしました。しかし、コロナ禍にあって、この3年間、地域との関わりをもつことができずに今に至っています。感染症との共存を模索しながらの社会生活が戻りつつある今、本校の生徒の良さを伸ばしていくためには、地域との様々な関わりが必須であることを強く感じています。

生徒全員、地域の方々にもご協力をいただいて作成した折り鶴のモニュメントが正面玄関に飾られ、圧倒的な存在感を示しています。感染症の世界的な流行により、日常の社会生活すら自粛、制限が求められる中、学校生活において我慢しなければならないことも数多くあったこの時も、これまでの20年間と共に、これから更に続いていく御徒町台東中学校の歴史を綴る大切な時代として残っていくこととなります。このモニュメントが、創立二十周年という節目の年に在籍していた生徒たちにとって記念すべき象徴となり、令和4年度がどのような年であったかを思い出してもらえらるものになったらうれしく思います。

台東区子供歴史・文化検定

高得点者(80点以上)

(1-1)、(2-2)、(2-2)、(2-2)

(2-3)、(2-3)、(2-4)、

二級取得者

(1-1)、(1-1)、(1-2)、(1-3)、(2-1)、(2-2)、(2-2)、

(2-2)、(2-3)、(2-3)、(2-4)、(2-4)、(2-4)

第25回全国ジュニア選手権大会

空手道拳道会

組手 中学生女子の部 優勝 (3-1)

型 中学生女子の部 準優勝 (3-1)

男子バレーボール部

東京都中学バレー新人大会 2回戦進出

板橋区立志村第一中 1対2 御徒町台東中

駿台学園 2対0 御徒町台東中

「心のバリアフリー」

普及啓発ポスターコンクール

中学生の部 最優秀賞 (3-4)



東京都薬物乱用防止ポスター

優秀賞 (3-1)

優秀賞 (3-1)

